

学校だより

千葉市立
みつわ台北小学校
7月号
(R7年6月30日)

あいさつのある世界ない世界

校長 池内 哲夫

正門の前に立ち、大きな声で「おはようございます」と声を出している子どもたちがいます。運営委員会に所属する子どもたちです。運営委員会では、話し合って「あいさつ運動」を一年間通して実施することにしました。最初は挨拶をしても、なかなか挨拶がかえってこない状況でした。しかし、運営委員会は粘り強く活動しました。その結果、最近では挨拶が返ってくることも増えてきました。声も大きくなっています。

地域の方からは「あいさつ運動をしている子たちの挨拶の声や姿勢がいい。」「こんな気持ちの良い挨拶は最近なかった。」「学校が変わった。」とお言葉を頂きました。

セーフティウォッチャーの方々にも、大きな声で挨拶できる子どもが増えてきました。セーフティウォッチャーの方々から「朝、子どもたちの元気な挨拶を聞くと、こちらが元気になります。」と、うれしいお話を聞くようになりました。

今、みつわ台北小学校では「あいさつのある世界」が広がっています。毎朝、明るい雰囲気があります。

挨拶はコミュニケーションに不可欠です。また、人間関係をスムーズにするなど社会生活を営む上での基本的なスキルの一つです。大人にとっては当たり前の挨拶ですが、子どもにはその大切さがわからないこともあります。そのため学校では「あいさつのない世界」にはならないように、挨拶の大切さを繰り返し伝えていきます。ご家庭でも話題にしていただけると幸いです。

写真

写真

写真

《表現運動発表会に参加しました》（4年生）

4年生では表現運動に取り組みました。テーマは「ジャングル探検」です。6月16日に「表現運動発表会壮行会」を行いました。ジャングルに入ると同時に表情を変え、大きく動いたり、速さや高さに変化をつけたりしながら表現しました。1組も2組も日頃の体育学習の成果を発揮することができました。

18日、都賀の台小学校で行われた「表現運動発表会」には1組が参加しました。緊張した様子も見えましたが、表現したいことを体いっぱい表現できました。他の学校の発表を見る態度も素晴らしく、他校の表現のよさを見つけるなど学校の代表らしい態度で臨むことができました。表現運動を通して、子どもたちは大きく成長しました。

写真